

功 績 概 要

○文化芸術功労者

【個人の部】

部門	分野	氏 名	功績概要
文芸	短歌	歌人 やまもと ひろつぐ 山本 寛嗣	山口県短歌界で活躍するだけでなく、初心者から経験者までの指導に長年にわたる実績があり、令和元年には、山口文化協会から所属団体の指導発展・地域文化の振興功労で表彰を受けるなど、短歌を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。
音楽	音楽指導 (吹奏楽)	山口県吹奏楽連盟 副理事長 しんどう けんいち 進藤 健一	山口県公立中学校の課外活動として吹奏楽部を指導し、コンクール上部大会への出場をはじめとする優れた成績を収めるとともに、優秀な奏者を多数育成した。また長年にわたり連盟の中核を担い活躍し、音楽を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。
	声楽・文化団体の活動	下関市文化協会会長 いがらし みきこ 五十嵐 美紀子	声楽家としてソロコンサートやジョイントコンサートなどを開催し、クラシック音楽の振興に力を注ぐとともに、下関市文化協会の会長として姉妹都市との文化交流や記念行事を開催するなど、音楽を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。
一般文化	地域文化の活動	ますもと よしたか 増本 義隆	阿武町において16回のジャズコンサートを開催し、町にジャズのイメージを定着させるとともに、音楽を通じた町づくりや町の魅力発信に尽力することで、県内のジャズの啓蒙や文化の醸成を促進し、音楽を通じた本県の文化・芸術の振興に寄与している。

【団体の部】

部門	分野	氏 名	功績概要
文芸	川柳	やまぐちせんりゅうぎんしゃ 山口川柳吟社	県川柳大会の開催や他の川柳会の支援に意欲的に取り組み、県川柳界を牽引してきた。また、創立百周年を記念して発行した「山口川柳吟社百年史」は、県川柳界の歴史を網羅した貴重な資料として高く評価され、川柳を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。

○文化財保護功労者

氏 名	功績概要
上関町文化財保護審議会副会長 やすだ かずゆき 安田 和幸	郷土の文化財に関する有識者として、2010年から現在に至るまで、上関町文化財調査委員会及び上関町文化財保護審議会の委員（2010～現在 副会長（副委員長））を務めるなど、文化財の保護に尽力している。
山陽小野田市文化財愛護会 (会長 はらだ よりくに 原田 頼邦)	1976年の設立以来、現在に至るまで、49年余りの長きにわたり、文化財に対する理解の増進、文化財愛護精神の普及を目的として活動しており、会報の発行や史跡めぐりの開催、文化財の清掃活動などを通じて、地域の文化財保護とその普及に寄与した功績は顕著である。